

基幹工学部 機械工学科カリキュラムマップ

機械工学科のカリキュラムは、以下のような考え方で、設定されています。

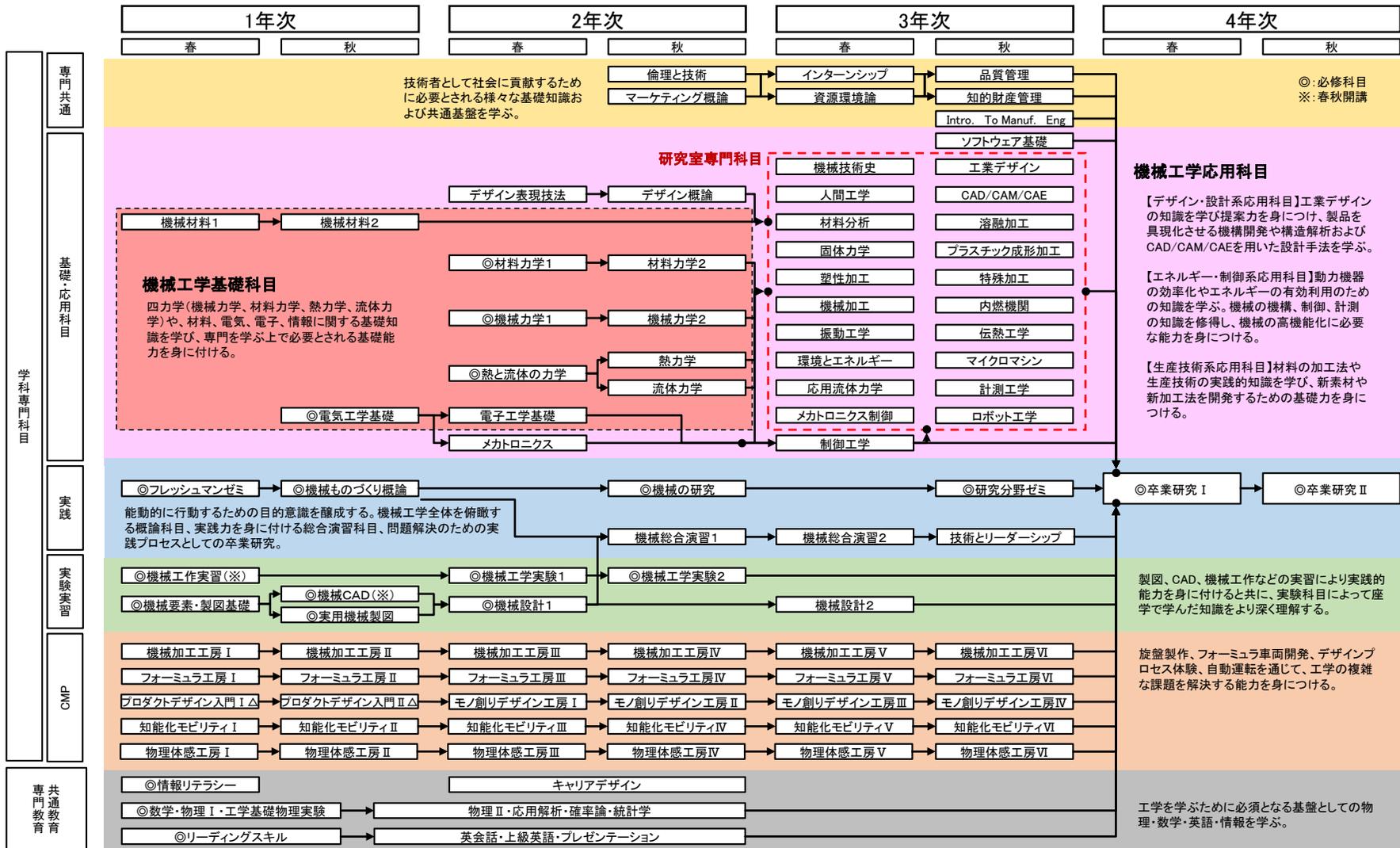
1年次は、共通教育科目を中心に、機械工学を学ぶための基礎となる理数系科目を修得します。併せて、製図、CADおよび工作実習に取り組み、機械系技術者に必要とされる技術を実習を通して身に付けます。

2年次は、「四力」と呼ばれる機械工学の基礎科目:「材料力学」「機械力学」「流体力学」「熱力学」を学び、専門性を高めるための土台を築きます。また、座学で学んだ知識を実験科目により深めます。

3年次は、機械工学の専門応用科目として各分野の専門科目を配置します。自分の目指す技術者像を見据えて、それぞれの専門分野をより深く学びます。

4年次は、ここまで学んだ知識と修得した技術の実践の場として、卒業研究では少人数の研究室で、個別のテーマに対して直接、教員から指導を受け、課題に対して自立的に取り組む能力を身に付けます。

また、実践能力育成の科目として、カレッジマイスタープログラムとして「機械加工工房」「フォーミュラ工房」「モノ創りデザイン工房」が選択可能です。



1年次: 基盤科目と実習

2年次: 専門基礎と実験・設計

3年次: 専門応用と実践演習

4年次: 実践力としての卒研

△: プロダクトデザイン入門ⅠおよびⅡは自由科目です。